

外来診療予定表(10月)

★: 女性の医師 赤字: 変更となった診療

診療科		月	火	水	木	金	土
総合診療部 (外科・内科)	午前	吉村(外科)	大野(外科)	大野(外科)	鈴木(外科)	吉村(外科) 第1.2.3	—
	午後	—	—	—	吉村(外科) 第1.3 (肛門専門外来) 第2	—	—
	午前	塩田総院長(外科) 第3	—	—	—	—	—
	午後	小坂 (下肢静脈腫専門外来) 第4	—	—	—	—	—
	午前	★清原(内科) 第1.4.5	★清原(内科)	★渡部(内科) 受付15:30まで	★清原(内科)	—	★酒井(内科) 第1 藤本(内科) 第3
	午後	—	★渡部(内科) 第1.3 受付15:30まで		—	—	—
	午前	大木 (肝臓内科・内科)	—	大木 (肝臓内科・内科)	—	—	大木 (肝臓内科・内科) 第2.4 ※午後休診※
	午後	—	—	由井(糖尿病外来) 初診受付16:00まで	大木 (肝臓内科・内科)	—	—
脳神経外科	午前	綾部	—	石和田	青柳 第2.3.4	青柳	石和田 第1.3.5 青柳 第2.4
	午後	—	—	—	—	—	—
整形外科	午前	塩田院長	塩田院長 第2.4	塩田院長	塩田院長	塩田院長 第1.3	塩田院長 第2.4.5 ※午後休診※
	午後	—	—	—	塩田院長 (脊椎・脊髄外科外来) 第3	—	—
	午前	—	石井(予約制) 第1.3	—	—	石井(予約制) 第1.2.4	石井(予約制) 第1.3 ※午後休診※
	午後	—	—	石井(予約制)	石井(予約制)	石井(予約制)	—
循環器内科	午前	中津副院長	中津副院長	—	大橋	中津副院長 第1.3.4	水上 第2
	午後	—	—	佐藤		—	—
婦人科	午前	遠藤名誉院長	遠藤名誉院長	—	遠藤名誉院長 第2.4	—	遠藤名誉院長
	午後		—	—	遠藤名誉院長	—	—
サイバーナイフ 外来	午前	大木	—	大木	宇野	—	大木 第2.4
	午後	—	—	—	—	大木	—
脳神経内科	午前	—	片多(予約制)	平田	—	—	—
耳鼻咽喉科	午前	—	小谷 初診受付16:00まで	—	★スミス 第1.3 初診受付11:00まで	河合 初診受付11:00まで	—
	午後	—		—	★スミス 第1.3 初診受付16:00まで	—	—
泌尿器科	午前	—	—	—	日本医大(交代制)	—	日本医大(交代制) 第3
	午後	—	—	—	—	—	—

- ◎診療予定は変更となる場合があります。院内『お知らせコーナー』や『ホームページ』または、電話にてご確認ください。
- ◎当日のご予約はお取りすることができません。必ず前日までにしてお取ください。◎当日、急遽休診になる場合がありますので、ご了承ください。
- ◎保険証は毎月確認させていただきますのでお持ちください。また、お薬手帳もございましたら必ずお持ちください。
- ◎外来受診に関する詳しい案内は『ホームページ』よりご確認ください。

受付時間:(月～金)8:30～11:30/13:30～16:30 (土)8:30～11:30
予約専用ダイヤル:0475-35-0002 (月～金)8:30～17:00

※お電話をおかけの際、診察券をお持ちの方はお手元にご用意ください。 ※当日予約なしで受診希望の際はお電話にてご確認ください。



医療法人SHIODA塩田記念病院広報誌

塩田記念病院だより

Vol.111 2022年10月号

医療法人SHIODA塩田記念病院 総務課発行 ホームページ: <https://www.s-fmc.jp>
 〒297-0203 千葉県長生郡長柄町国府里550-1 Tel:0475-35-0099 Fax:0475-35-0098

病気の豆知識～外陰部掻痒症(がいいんぶそうようしょう)の話～

外陰部掻痒症という言葉は症状や病態を表すもので特定の病名を表すものではありません。またその原因は多岐にわたるため原因の特定、治療は容易ではありません。発生の経過から急性と慢性に分類されますが急性掻痒症の多くは感染症が原因の事が多くカンジダ腠外陰炎や病原菌が特定されない非特異性腠炎(別名細菌性腠症)などがあります。

慢性掻痒症の主な原因は皮膚自体の疾患で、その中でも婦人科領域で原因の多くは接触性皮膚炎と加齢による外陰部の萎縮です。その他外陰癌のような腫瘍や感染、全身性疾患、心因反応などがあり、鑑別が必要です。

診察では最初に腔分泌物の顕微鏡検査や培養検査で原因が不明の場合は接触性皮膚炎を疑い問診により原因物質となり得る化学的、物理的的刺激やアレルギー物質を探ります。

外陰部は特に敏感な場所であり石鹸やシャワートイレの過度な洗浄、刺激性の有る衛生用品の使用、間違ったステロイド剤の使用なども原因となります。

治療には軽症の場合は白色ワセリンのような皮膚保湿剤や非ステロイド抗炎症外用薬から開始し、作用の比較的弱いステロイド外用薬などを使用しますが副作用もあるため年齢に応じた治療法を選択する必要があります。掻痒感が改善しない時は腫瘍専門医、皮膚科医、精神科医などの診察が必要なこともあります。外陰掻痒感を自覚したら最初の窓口として婦人科外来受診をお勧めいたします。



塩田記念病院 名誉院長
婦人科部長
遠藤 信夫

病院からのお知らせ

■来院される方へ

当院では新型コロナウイルス感染症の対策として来院される方々に消毒・検温を行っております。

万が一、**発熱や風邪症状、喉の痛みなどの症状**ございましたら、**来院前にご連絡ください。**

入院されている方への面会は原則禁止とさせていただきます。ご理解の程よろしくお願い致します。また、当院は**発熱外来を行っておりません**ので予めご了承下さい。

■当院からのお電話について

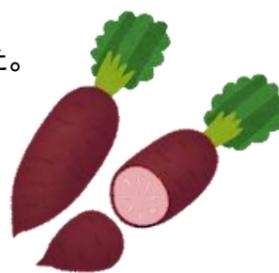
外来が急遽休診になってしまったときや入院やお会計のことなどで当院から患者様へご連絡させていただくことがあります。

その際に患者様よりお伺いしている携帯番号・自宅番号へお電話差し上げますので、番号に変更がありましたら窓口にお越しの際やお電話した際に必ずお申し出ください。同様に住所や保険証が変わった際にも必ずお申し出ください。ご協力をお願い致します。



栄養士のひとりごと

秋風が虫の音を運んでくれる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。おしゃれで色鮮やかなお野菜をご紹介している今年の独り言も10回目となりました。今月は「紅くるり大根」という鮮やかな紅色の大根をご紹介します。紅くるり大根は手のひらにのるくらいのサイズでコロンとしたさつま芋のような形のずんぐりとした小ぶりの大根です。皮だけでなく果肉まで鮮やかな紅色が特徴で、まだ開発されたばかりの品種です。この赤い色素は赤ワインなどに含まれるポリフェノールであるアントシアニンで、通常の大根の約3倍も含まれています。



アントシアニンと言えば抗酸化作用。これから寒くなる季節、免疫力アップのためにも必要な栄養素です。通常赤い皮の大根は果肉が少しぼそぼそしていて水分が少ない印象がありますが、この紅くるり大根は白い大根のようにみずみずしい肉質で甘味も十分味わえます。

食べ方はサラダとしてはもちろん、浅漬けやピクルス、焼いてもおいしくいただけます。他の食材と煮ると赤く色移りしてしまうので適しませんが、炊き込みご飯にするときれいな薄紅色のご飯に炊きあがります。大根の甘味も味わえるのでお勧めです。ビーツのようにスープにすると真っ赤なスープに仕上がります。鮮やかな紅色を楽しむピクルスはいかがでしょう。ピクルスは西洋のお漬物です。もちろん発酵食品。紅くるり大根やカラフルな野菜と一緒に瓶に漬けてキッチンに並べてみてはいかがでしょう。手軽に野菜を食べることができ、食卓を鮮やかに彩ります。酢漬けにすることで保存食品としても、食べきれない野菜を漬けておくだけでフードロスの削減にもなりますね。

簡単なピクルス液のレシピをご紹介します。酢:水:砂糖の比率は4:4:1 そこに塩をほんの少々。鍋に入れてひと煮立ちさせます。少量なら耐熱容器などに入れて電子レンジ600Wで1分ほどで完成です。黒胡椒やローリエ、鷹の爪、にんにくやハーブなどと一緒に漬けるとおいしくなります。お酢の風味を生かしたいなら、火を入れてからお酢を加える調理法もあります。冷蔵庫で半日から一晩寝かせて出来上がり。大量に作る場合には煮沸した瓶に漬けると日持ちがします。さらに漬ける野菜をさっと湯通しすると野菜の雑菌をのぞけるため、長期保存が可能です。ピクルスを漬けたピクルス液はドレッシングなどとして利用しましょう。

今月は赤い大根をご紹介しました。まだまだ一般には流通していないようですが、種は販売されているので、家庭菜園で楽しんではいかがでしょう。季節が変わりこれから寒い冬に向けて体調を整える季節となります。食欲の秋、食べすぎには注意しながら、旬のお野菜やきのこ類、果物を取り入れて、実り豊かな秋を満喫しましょう。ご自愛くださいませ。次回もお楽しみに。



参考資料:Wikipedia 日本食品成分2020 厚生労働省 日本人の食事摂取基準2020年版

栄養科 管理栄養士 戸矢 静華

心臓カテーテル検査について

胸が苦しい…！この症状で病院へと来院される患者様はとて多いです。その際にCT検査や心電図検査、採血等を行います。心臓に異常のある可能性がある場合、心臓カテーテル検査と呼ばれる検査を行い、診断や治療方針を決めていきます。今回はその心臓カテーテル検査について説明致します。



心臓カテーテル検査とは、動脈、あるいは静脈から、心臓の各部屋や血管(冠動脈)に細く柔らかいプラスチック製の管(カテーテル)を入れ、その中を進めて心臓に到達させ、その中の圧力を測定したり、造影剤を使って心臓の各部屋の大きさ、筋肉・弁の動き、冠動脈が狭くなっているかどうかなどをみたり、不整脈の原因は何かなどを詳しく調べる検査です。血管の内側には痛みや場所を感じる神経がありませんので、患者様にはカテーテルがどこまで進んでいるかは全く自覚できません。知らないうちに、心臓まで到達している状況です。

心臓カテーテル検査の中で、冠動脈造影は最も重要なものの一つです。心臓の血管は大きく分けて、左に2本、右に1本あります。これらの血管を造影剤と呼ばれる薬剤を使い、血液の流れをX線撮影でリアルタイムに見えるようにする事で血管に異常がないかを調べていきます。冠動脈が途中で狭くなり、心筋に十分血液が供給されなければ狭心症、閉塞して供給が途絶えると心筋梗塞という病気へととなります。この検査結果によって、今後の治療方針が決まっていきます。

冠動脈は枝分かれを繰り返す、立体的で複雑な構造になっているので、枝(血管)の重なりによって問題となる病変を見逃さないように1方向からだけでなく、頭側や足側、右側や左側など多方面から撮影をします。そのため検査中は、撮影するたびに機器が動き、顔に近づいたり、またはベッドが動いたりします。検査中の患者様はじっと横になっているだけなのですが、全身に麻酔をかけるわけではないので、意識のあるまま検査や治療を受けるということです。そう聞くと、怖い、不安だと感じる方も多いと思います。しかし、安心して下さい！検査中は、医師はもちろん看護師や我々放射線技師等様々なコメディカルが各々の役割を持ちながら、患者様の状態を観察しており、万が一何か起こった場合でも速やかに適切な対応が取れるように努めています。

また、危険度についてですが、どんな検査にも併発症はあり得ます。造影剤アレルギー、低血圧、血栓症、動脈解離などが心臓カテーテル検査の際の併発症としてあげられますが、器材、技術の進歩に伴い、近年では非常にまれなものとなっています。先ほどお申し上げた通り、検査中および検査後は、心電図、血圧の監視等、万全を期しており速やかに適切な対応がとれるように努めております。また、危険が予知された場合は、検査を中止する場合があります。

当院では、副院長である中津先生を始め、心臓カテーテルへの理解が深い先生方が患者様に話しかけ、不安を取り除きながら日々心臓カテーテル検査を行なっております。心臓に何か異常があるかもしれないと言われると、心配になってしまうとは思いますが、信頼できる医者や看護師とともに検査にあたりますので、皆様もご不安な点は聞いて頂き、安心して検査を受けて頂ければと思います。

放射線科 診療放射線技師 宇都木 渉